

モ、勇氣正キ事、日本ニ可劣國トモ不被思也、因茲也、朋友無益討果、主君ヘ志ヲ忘、父母ヘ孝ヲ忘ナ
ドスル類不知其數、雖然、男子上下トモニ勇ヲ以テ本トスル處ナレバ、偏鄙偏屈ナリトイヘドモ、
潔キ意地アツテ、耻ヲ知故、是ヲ善トス、

女之風俗、色白ク、カミ長ク而、其顔色モウルハシキトイヘドモ、其形儀音聲更ニ述ニ不及シテ惡
キ也、此國ノ上臈ト上方ノ下臈ト、其甲乙ヲ云フニ、上方ノ下臈女房ニモ嘗テ不及也、然ドモ心底
ハヤサシク情有テ、氣ノ正キ事モ、上方ノ男ヨリモハルバル上ナリ、

總而此國、出羽、上總、下總、常陸、上野、下野之類、大形ハ人ノ音聲上ハ拍子也、然ル故ニ、心ニ佞成事ナ
クテ、差當ル所之儀ノミ大形ニ勤ルト可知、然故ニ、每物至テ思案工夫分別スル事鮮キ事、千人ニ
九百人如此也、若又智有テ氣質之變ヲ去ラント志シ勤ル人有トイヘドモ、其理之内之陽ヲ取テ
以テ是ヲ用テナス故ニ、何事モ强身ナリ、取分テ牡鹿、郡栽、鹿角、階上、津輕、宇多郡之人ハ、兎角ソコ
ツアラマシナル風俗ナリ、

〔新撰陸奥風土記〕風俗

我友大屋士田曰、按に當國大國なる故、所々の異なる風土有、然共凡山多き國なり、民俗本書に詳
なり、會津は白川より西に入、遙に山谷相續たる國なり、西は越後に隣りて寒烈しく、雪深き事北
國よりも勝れたり、岩城相馬相馬ハ所の本名にはあらず、總州の郡名なり、相馬は東の海濱なり、故
外よりは寒緩し、白川、二本松、赤館、三春、白石、福島等の所々皆山中の形氣なり、仙台の如きは、當時
繁昌の地なる故、風儀上國に習へり、奥郡に至りてハ、南部是又所の本名にあらず、甲州の
よりも尖どに寒烈雪深、津輕ハ南部よりも又烈、其風土に隨て人心も自別なり、松前は蝦夷につ
づきて、風儀又異なり、しかれども本書に説如く、一偏の鄙屬なる事各かはる事なし、古昔ハ奥の
夷とて、人倫にも不通禽獸のごとき風なりしに、中古上國の人君長となり、政治を施す力により、